

# 神戸の将来を考えるワークショップ（WS）の結果報告

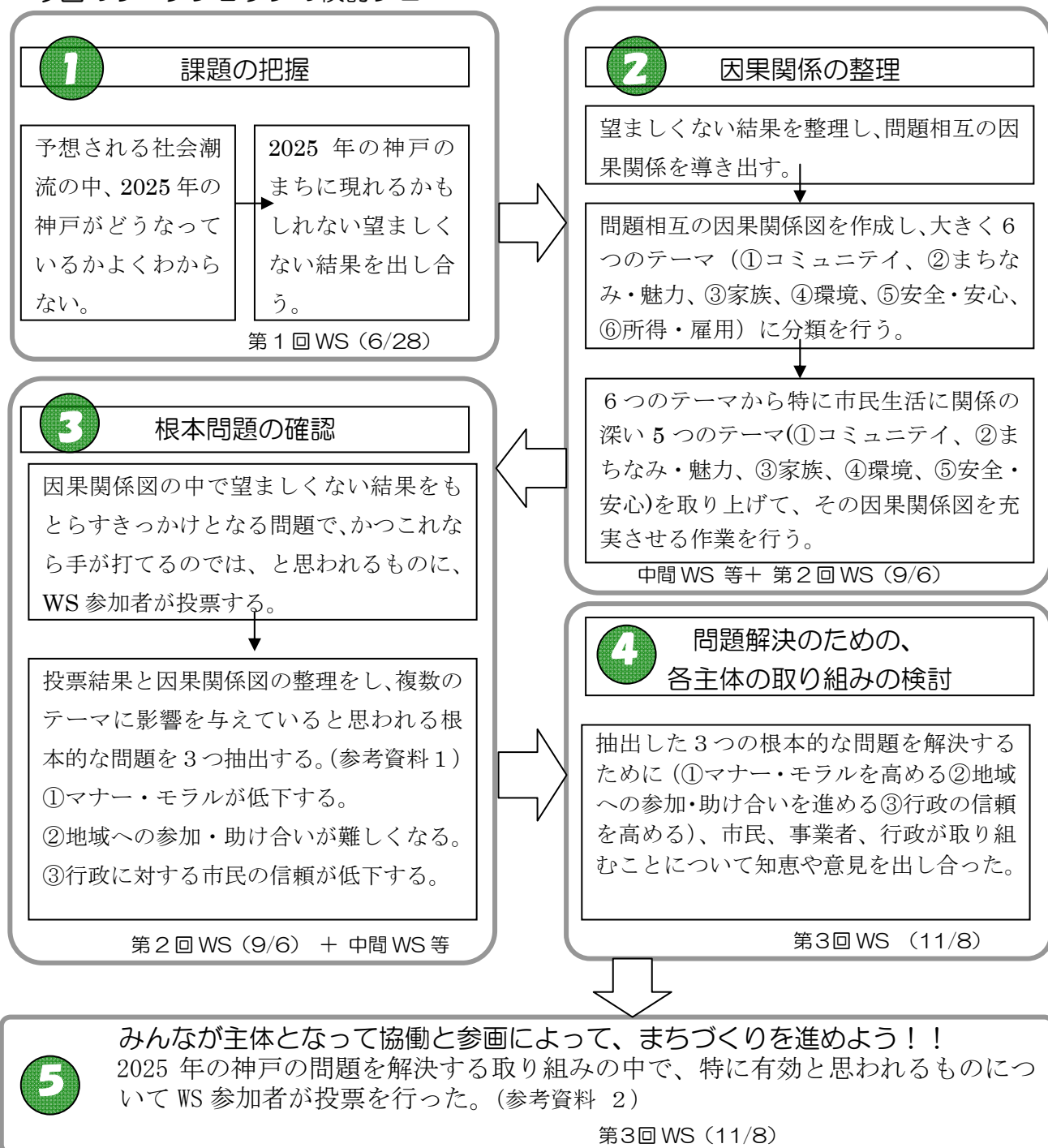
## ■概要

次期基本計画の策定に向けて、市民との協働と参画による WS を開催し、「2025 年の神戸に現れるかもしれない望ましくない結果」とそれをもたらす因果関係を導き出し、次いで、その因果関係の中で望ましくない結果をもたらす根本的な問題を抽出し、さらにその問題解決のために市民・事業者・行政が取り組むことについて、知恵や意見を出していただいた。このような手順で WS を進めるにあたっては、制約理論（TOC）の考え方を取り入れた。

本 WS では、市政アドバイザーを中心に市民の方に継続して参加をいただいて、連続 3 回実施した。その間、WS の結果を整理するための中間 WS を 2 回実施するとともに、因果関係を専門的な対場から補足するため、次期基本計画のあり方懇話会の委員や行政を含む関係者からご意見をいただいた。

また、WS の開催にあたっては、(財)神戸都市問題研究所と共同で実施し、進行役を同志社大学 立木茂雄教授にお願いした。

## 今回のワークショップの検討フロー



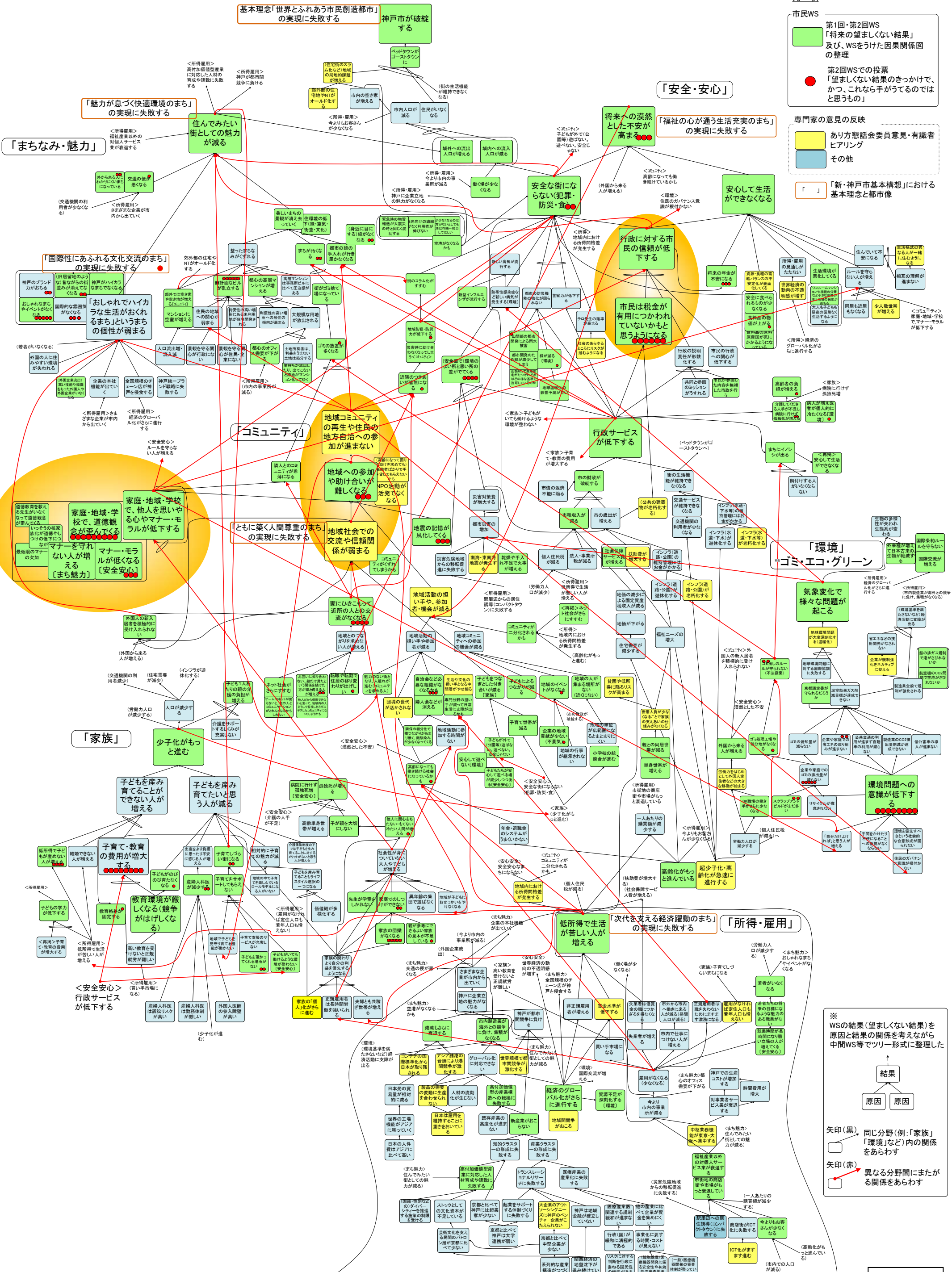
凡 例

市民WS  
 第1回・第2回WS  
 「将来の望ましくない結果」及び、WSを受けた因果関係図の整理

第2回WSでの投票  
 「望ましくない結果のきっかけで、かつ、これなら手がうてるのではと思うもの」

専門家の意見の反映  
 あり方懇話会委員意見・有識者ヒアリング  
 その他

「J」 「新・神戸市基本構想」における基本理念と都市像



※ WSの結果(望ましくない結果)を原因と結果の関係を考えながら中間WS等でツリー形式に整理した

結果  
 原因 原因

矢印(黒) 同じ分野(例:「家族」「環境」など)内の関係をあらわす  
 矢印(赤) 異なる分野間にまたがる関係をあらわす

# みんなが主体となって協働と参画によってまちづくりを進めよう!!

## ① マナー・モラルを高めるために

515

- あいさつ・声かけをする(10)
- 市民ひとりが率先して、簡単なマナーを実践する。(8)
- ルールを守れる環境を整備し、規則や罰則を強化する。(4)
- 親と先生が信頼できる関係になる。(3)
- 学校でマナー・道徳教育を進める(2)
- 子育て支援策を充実させる(2)
- 市民の文化度をあげる (2)
- 地域でマナー・道徳教育を進める(1)
- 家庭でマナー・道徳教育を進める (0)
- 老若男女が地域でふれあい関わる場や機会を作る (0)

## ② 地域への参加・助け合いを進めるために

4

- 市民が参加したくなるようなイベントを開催する (9)
- 市民と行政が話し合いの機会を多く持つ (7)
- 地元を離れなくても良いように地域完結性を高める (5)
- 市民が集える場を提供・確保する (4)
- 隣近所がなかよくする (4)
- 交流を推進する( 4)
- 市民としての自律性を大切にする (2)
- 地域組織の自律性を高める (0)

## ③ 行政の信頼を高めるために

12

- 行政が市政のムダを無くす (13)
- 市民と行政が対話を続け、市民意見が活かされている実感が持てるようにする (12)
- 公平・公正に事業・事務を行う (3)
- 情報公開を進める (3)
- 誇りを持って職務を行う (3)
- 公共施設・施策を質・量ともに充実させる (1)
- 税金をあげない (1)
- 予算について情報公開を進める (1)
- 組織の内部統制を高める (1)
- 組織改革を継続する (0)

(( ()内が投票数。各参加者が5票ずつ持ち、①～③の各テーマへ一票ずつをその他2票は自由に投票を行った。))

## 投票結果ベスト5と各主体の取り組みとの関係

### 市民の領域

**3** あいさつ・声かけをする。  
●●●●●●●●●●

市民みんなが返事が無くても、あいさつするよう努力する。

自分から誰にでも朝のあいさつをする。

地域で声かけをする。

行政があいさつ運動をする。  
など

**5** 市民一人ひとりが率先して簡単なマナーを実践する。  
●●●●●●●●●●

市民一人ひとりが道に落ちているゴミを拾うようにする。

親がマナー・モラルを守る姿をこどもに見せて学ばせる。

市民の生活の中で公共マナーを地域に根付かせる。  
など

### 協働と参画の領域

**2** 市民と行政が対話を続け、市民意見が活かされている実感が持てるようにする。  
●●●●●●●●●●

行政が市民ともしっかり対話する。

市民が行政に参加できる機会を増やす。

行政と市民で会合を開き、互いの考えを知って理解を深める。  
など

**4** 市民が参加したくなるイベントを開催する。  
●●●●●●●●●●

市民がイベント(行政の行事や地域の祭りなど)を考えたり、参加をする。

行政が地域の祭りのお知らせなどの支援や参加を呼びかけるとともに、参加したくなるようなイベントを開催する。

市民と行政が地域でのイベント等で結束を固める。  
など

### 行政の領域

**1** 行政が市政のムダを無くす。  
●●●●●●●●●●

行政が、年度末に集中する道路工事やサービスなどの中でムダな部分を無くす。

行政は常に民間実施の場合を意識する。

市が赤字の事業を止めていく。  
など